

事例紹介：ForceControl（力覚制御）を使ったアルミ材のバリ取り

参考動画は[こちら](#)

参考動画



導入前の課題

- ツールの寿命が短く、ランニングコストがかかっていた
- メタルソーでの切断はロボットへの負荷が高く、自動化が難しかった
- バリ箇所のばらつきがあっても定速で加工していたため、サイクルタイムが向上しなかった

ポイント

- 力覚センサーでバリを検出し、バリがある箇所のみスピードを落とすことで、ツールの寿命とサイクルタイムを向上（スピードチェンジ制御）
- 力覚制御により、メタルソー切断時はロボットにダメージが生じない程度にスピードを調整している（スピードチェンジ制御）

導入による効果

- ツールの寿命が向上した
- バリのない箇所を速く動かすことでサイクルタイムが向上した
- メタルソー切断も自動化することで、作業者の負担が減った



弊社アプリケーションセンターでテスト可能です！